

ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 79

★ “教育勅語” について利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料を紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

- 問) ① 教育勅語の全文がみたい。
② 教育勅語の現代語訳はないか。
③ 教育勅語の外国語訳のものはないか。



- 答) ① 教育勅語の全文が出ているもの
『日本戦後史資料』(210.76/Sh72 開架一般)
『教育勅語の研究』(155/I94) などたくさんあります。

また『尋常小学修身書』には巻4から全文が出ています。
※巻4のみフリガナつきです。
なお下記に紹介する図書にもすべて全文が出ています。

- ② 現代語訳があるもの
『教育勅語』(155/Su48) ※この資料には全文の英訳もあります。
『神国日本は敗けました』(210.75/N73 開架一般)
『天皇と日本の近代 下』(210.6/Y66/2)
- ③ 外国語訳があるもの
『日本植民地教育政策史料集成 第16巻』(372.21/N71/16)
→漢訳・朝鮮語訳
『資料・教育勅語』(155/Ka84)→漢・英・仏・独語訳

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・「メンソレータムの手製」！？・・・

家庭薬として有名なメンソレータム。その類似品の作り方を、戦中に出版された『主婦の台所科学』の中に見つけました。当時では、家庭工作として「化粧水」「毛髪剤」などの作り方も記されています。一度、試してはいかがでしょうか？

(以下は、『主婦の台所科学』(592/N99)のP.220-221を引用したものです。)

ーメンソレータムの手製ー (旧漢字、旧かなづかいは改めました)

* 材料

ワセリン 100g、無水ラノリン 10g、精製樟脳(セトイヨウリ) 7g
白蠟(ハクワ) 20g、薄荷脳(ハッカリ) 4g、チモール 1g

* 作り方

- ① まず、湯煎を準備します。(中略) コンロに水の入った洗面器をかけ、この中に入る位の瀬戸引きボールまたは小鍋を用意します。この中にワセリン、白蠟、無水ラノリンを入れてよく混合し焦げないように熱するのです。
 - ② 別に薄荷、樟脳、チモールを乳鉢でよくすりつぶしワセリン等がよくとけ混合したら、それ稍冷して後両方をよく混合します。
 - ③ 乳鉢で完全に混合する方がよいのですが、硬かったら少し湯煎で暖めて混合します。しかし、あまり高温になると樟脳、薄荷が発散しますから注意してください。
- ※ 簡単に類似のものを造るにはワセリンに20分の1位の薄荷と10分の1位の樟脳とを加えただけでもよいのです。要するにメンソレータムの名もこの薄荷のメントールから来たので、薄荷と樟脳とワセリンが主なのです。但しワセリンはなるべく純良なものを選ぶことで、よいワセリンはこれだけでよくヒビ・アカギレの薬として冬の手の荒れに利用し、又ヤケドの薬となりますが、硼酸(ホウサン)を入れると猶よく、又靴ずれ・カスリ傷等にも利用されます。又ワセリンは日焼け止め、金属の錆防ぎ、靴・鞆等の革具にぬり、又硝子瓶の共詮に利用して気密にし、その詮のぬけをよくします。



ー図書室からー

※ 7月1日より全館禁煙になります。

4、5階の喫煙コーナーを廃止し、館内はすべて禁煙になります。ご了承ください。
なお、喫煙される方は、1階入口脇に灰皿を用意していますので、そちらをご利用ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 79

2006年6月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1